

# 【オンライン】G検定への招待 AIリテラシー向上研修

「オンライン (Zoom)」開催研修です。



本研修は、受講対象を特定の職種に限定しておりません。全社的なAIリテラシー向上の第一歩としてご活用いただけます。

研修がもたらす3つの組織的成果は以下の通りです。

## 1. ビジネス機会の創出：

ChatGPT等の生成AIの仕組みから体系的に学ぶことで、従業員が自社のビジネスにどうAIを応用できるかを考え始め、新たなサービスや業務改善のアイデアが生まれる土壌を育みます。

## 2. 部門間連携の円滑化：

営業・企画職と開発職がAIに関する「共通言語」を持つことで、コミュニケーションロスを削減。AIを活用したプロジェクトのスムーズな立ち上げと推進を実現します。

## 3. 客観的なスキル証明：

G検定という明確なゴールを設定することで、学習意欲を高め、組織として「AIリテラシーの高い人材が豊富である」ことを客観的に証明でき、企業ブランディングにおいても有利に働きます。

G検定合格へ導く3つの特徴は、以下の通りです。

## 1. 戦略的な試験対策

1問約30秒で解く必要があるG検定。Web検索が可能という特徴を最大限に活かす方法や、初学者がつまづきやすいコンセプトを重点的に解説し、効率的な合格戦略を伝授します。

## 2. 徹底した演習中心

重要な問題を厳選し、問題演習と解説を繰り返します。表面的な暗記ではなく、AIが動く仕組みから丁寧に解説することで、応用力の効く本質的な理解を目指します。

## 3. 記憶に残る実体験

AIの動きを可視化するアニメーションやゲーム、Pythonコードに触れることで、複雑な概念を直感的に理解。実体験を通して学ぶことで、知識の長期的な定着を図ります。

◎この研修は、全国オンライン共同開催です。

コース詳細	
研修講座コード	XS310
受講料	¥ 55,000
開催予定	3日間(12時間) 2027-02-08(月)～2027-02-10(水)
開講時間	13:00～17:00
前提知識	高校卒業レベルの数学に関する基本的な理解 (いわゆる文系の方ご参加可能)
対象者	AIの知識を基礎から学びたい全従業員の皆様 AIを活用した企画・提案が求められる営業職、企画職、マーケティング職の方 AI技術者との円滑な連携が必要なプロジェクトマネージャー、ディレクター職の方
到達目標	
講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 山崎有生

**備考**

こちらのコースはオンライン（Zoom）開催研修です。  
[オンライン研修の受講方法について](#)

## 研修内容

### <1日目> AIの歴史と機械学習の基礎理論

G検定で頻出の「歴史」と、ディープラーニングの基礎となる「古典的機械学習」の手法を学びます。

#### 1. オリエンテーションとG検定攻略法

本研修のゴールとAI活用人材（ジェネラリスト）の定義

G検定の出題傾向分析と合格への戦略（「広く浅く」+「キーワード理解」）

学習リソースと効果的な暗記・理解のバランス

#### 2. 人工知能（AI）の定義と歴史

AIの定義の変遷と「AI効果」

第1次～第3次AIブームの流れと背景（探索・推論、知識表現、機械学習）

主要な人物と言葉の定義（チューリングテスト、シンギュラリティ等）

#### 3. 機械学習の具体的手法（古典的機械学習）

教師あり学習（回帰、決定木、SVM、k近傍法など）

教師なし学習（k-means法、主成分分析など）

※各アルゴリズムの挙動と理論的背景の理解

### <2日目> ディープラーニングの核心と画像処理

ニューラルネットワークの基礎構造から学習の数理的仕組み、そして画像処理技術（CNN）へ展開します。

#### 4. ディープラーニングの基礎構造（DNN）

ニューラルネットワークの基本（単純パーセプトロンから多層化へ）

活性化関数の役割（シグモイド関数、ReLU関数など）

学習の仕組み：誤差逆伝播法と勾配降下法

#### 5. ディープラーニングの学習テクニック

学習を安定させる技術（バッチ正規化、ドロップアウト）

最適化アルゴリズムの進化（SGD, Adamなど）

G検定に必要な「数理・統計」の基礎知識（確率、偏微分、行列のイメージ）

#### 6. 畳み込みニューラルネットワーク（CNN）と画像処理

CNNの構造（畳み込み層、プーリング層）

代表的なモデルの進化（AlexNet, VGG, ResNetなど）

画像認識タスクの種類（物体検出、セグメンテーション）

### 3日目：自然言語処理と生成AI・最先端技術

時系列データ処理から、最新のトレンドである「生成AI（LLM）」、強化学習まで最先端技術を深掘りします。

#### 7. 回帰結合ニューラルネットワーク（RNN）と自然言語処理

時系列データを扱う仕組み（RNN, LSTM, GRU）

自然言語処理の基礎（形態素解析、BoW、単語埋め込み/Word2Vec）

系列変換モデル（Seq2Seq）とAttentionメカニズム

#### 8. 生成AIとTransformerの台頭

Attentionのみで構成された「Transformer」の衝撃

大規模言語モデル（LLM）の仕組み（GPTシリーズ、BERTなど）

拡散モデル（Diffusion Model）と画像生成AI

プロンプトエンジニアリングの基礎

#### 9. 強化学習と先端分野

強化学習の仕組み（エージェント、環境、報酬、行動）

深層強化学習（DQN, AlphaGo）

その他の先端分野（転移学習、蒸留、マルチモーダルAI）

※進捗状況により変更となる場合があります。

※注）なお、この研修では以下の内容は扱いません。

・AIプロジェクトに必要な知識（細目）

①AI開発プロセスの全体像

## お問い合わせ先

(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部研修課

営業時間: 平日 9:00~17:00

お問合せ: <https://www.deos.co.jp/contact>

電話: (011) 816-9700